

こうしていろいろな言葉を覚えてきたら、今度は本を読んでやりましょ
う。もちろんひらがなだけの絵本などでなく、漢字がまざった本を一緒
に文字を追いながら読みます。

そのうちに、子どもは読んでもらわなくても、ひとりで読むようになります。
子どもは自分でできるということに非常に喜びを感じますから、こう
なれば自分のほうからどんどん本を読みたいと思うようになるはずで
す。

いきなり「本を読みなさい」と言っても無理です。強制して読ませたと
しても、消極的な子どもをつくるだけです。いつも口を開いていれば、
親が食べ物を与えてくれるから、言われた通りにしていればいい……
というような子どもになり、知識欲の乏しい子どもになってしまふのです。

本当の教育とは、自主的にヤル気が起きるように道を開いてやること
です。つまり子どもの意欲をよい方向に伸ばしてやることなのです。

子どもが漢字に興味を待っているかいないかは、子どもの目を見れ
ば容易にわかるはずです。無理な強制は、子どもをダメにします。子ど
もの意欲を伸ばしてやることこそ、親としての最大の義務なのです。